2026 年 11 月 10 日（第 1.2 版）

臨床研究に関する情報

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和 3 年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第 1 号、令和 5 年 3 月 27 日一部改正）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名]　Computer-Aided Design/Computer-Aided Manufacturing（CAD/CAM）を用いた遊離骨移植による顎骨再建術の有用性に関する検討

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院・病院長　南須原 康行

[研究責任者所属・氏名]　北海道大学病院形成外科 前田　拓

[研究の目的]　コンピュータシミュレーションを用いた顎骨再建の有用性評価のため

[研究の方法]

〇対象となる患者さん

2018年1月1日から2026年12月31日までに、北海道大学病院形成外科で遊離骨移植術を施行し顎骨再建術を施行した方

〇利用情報

以下の情報を用います。2027 年 12 月 31 日までのカルテ情報を収集します。

① カルテ情報：患者情報：年齢、性別、病歴、既往歴、診断名、併存疾患

② 手術関連：手術時間、皮弁挙上時間、出血量、阻血時間

③ 骨学的評価：骨癒合率、プレート破損、プレートの露出、偽関節

④ 合併症：SSI、皮弁壊死、再手術、Clavien-Dindo分類

⑤ 機能評価：咬合、顎運動評価(開口量など)、嚥下(VF)、構音(広瀬の言語評価)

口腔内圧、EAT-10、筋電図、口腔機能検査、Oral health impact profile

顎関節検査(顎関節規格X-P)

⑥ 整容面評価：ベクトラ

⑦ アンケート調査結果：FACT H &N, FACE-Q Head and Neck

⑧ 画像検査結果：CT

[研究実施期間]

実施許可日（情報の利用開始：2026年12月頃）～2030年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

＊上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北区北 14 条西 5 丁目
北海道大学病院形成外科　　担当医師　前田 拓
電話　011-706-6978　　FAX　011-706-7827